

所沢市財政トークス

第7号「23年度当初予算」
所沢市財務部財政課発行
平成23年5月

平成23年度一般会計当初予算は、**873億3,000万円！！**

前年度に比べ、35億9,600万円、4.3%の増額です。

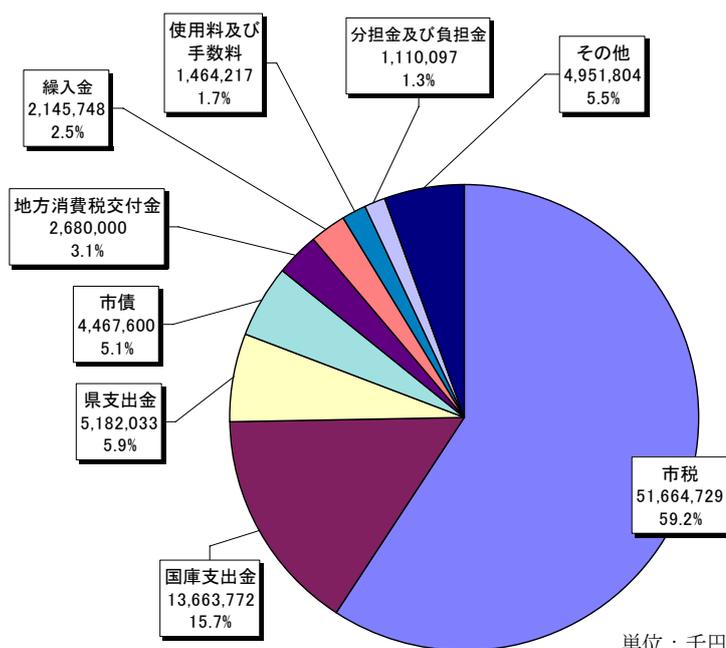


■平成23年度当初予算総額は **1,560億3,908万円** となりました

内 訳 □一般会計 **873億3,000万円**
□特別会計 **577億4,260万円**
□事業会計 **109億6,648万円**

1 平成23年度所沢市一般会計当初予算の概要

(歳入 **873億3,000万円**)



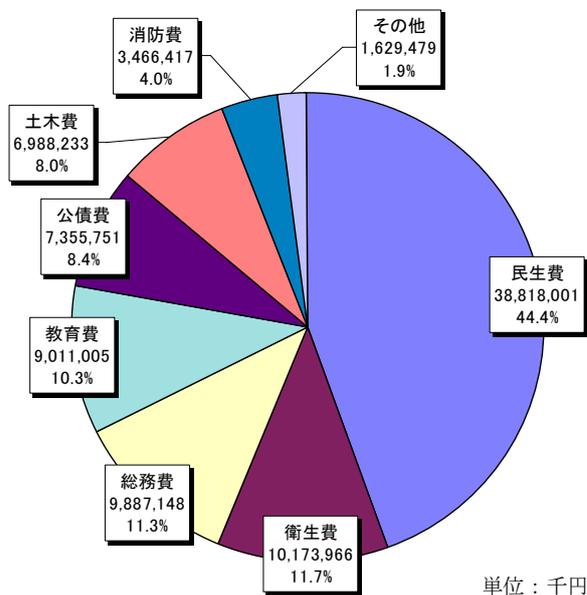
歳入の根幹となる**市税**は22年度と比較し、8.3億円、1.6%増とわずかながら増収に転じるものと見込んでいます。これは歳入の約6割を占めています。また、子ども手当や生活保護費などの財源となる**国庫支出金**が18.6億円、15.8%増、各種ワクチン予防接種の補助金などにより**県支出金**が8億円、18.3%増と、大幅な伸びとなりました。

また、22年度に8年ぶりに交付団体となった地方交付税・普通交付税は、23年度も8億円の交付を見込んでいます。

単位：千円

区分	当初予算額		22年度との比較		主な増減理由
	23年度	22年度	差額	伸率	
市 税	51,664,729	50,834,552	830,177	1.6%	個人市民税・法人市民税の増
国 庫 支 出 金	13,663,772	11,802,866	1,860,906	15.8%	子ども手当・生活保護費負担金の増
県 支 出 金	5,182,033	4,380,165	801,868	18.3%	各種ワクチン接種費用補助金の増
市 債	4,467,600	4,594,523	▲126,923	▲2.8%	臨時財政対策債の減
地方消費税交付金	2,680,000	2,418,000	262,000	10.8%	地方消費税交付金の増
繰 入 金	2,145,748	2,704,971	▲559,223	▲20.7%	財政調整基金繰入金の減
使用料及び手数料	1,464,217	1,626,443	▲162,226	▲10.0%	一般廃棄物等処分手数料の減
分担金及び負担金	1,110,097	1,122,544	▲12,447	▲1.1%	電線共同溝建設負担金の減
そ の 他	4,951,804	4,249,936	701,868	16.5%	地方交付税・普通交付税の増
合 計	87,330,000	83,734,000	3,596,000	4.3%	

(歳出 目的別)



左のグラフは「歳出」を目的別に区分し、どのようなことに支出しているかをあらわしたものです。

歳出のうち最も割合が高いのは**民生費**で、保育園や子育て、生活保護、高齢者や障害者など福祉に使われるお金です。子ども手当や生活保護費の増のほか、10月より子ども医療費の助成対象を小学校3年生から中学校3年生まで拡大することなどにより、22年度と比較し39.5億円、11.3%増となり、全体の44.4%を占めています。

2番目に大きいのが**衛生費**で、新たにヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がんワクチンの各種予防接種助成を始めることなどにより、22年度から6.6億円、6.9%増となっています。

総務費は、地域コミュニティの醸成のため4月より出張所と公民館を統合した「まちづくりセンター」を開設し、教育費に計上していた公民館にかかる人件費が移管されたことなどにより、4.8億円、5.1%の増となっています。

また、**その他**には、議会費、労働費、農林水産業費、商工費、災害復旧費、諸支出金、予備費が含まれています。



区分	当初予算額		22年度との比較		主な増減理由	
	23年度	構成比	22年度	差額		伸率
民生費	38,818,001	44.4%	34,866,763	3,951,238	11.3%	子ども手当費、生活保護費、子ども医療費助成の増
衛生費	10,173,966	11.7%	9,517,607	656,359	6.9%	各種予防接種費(ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がんワクチン等)の増
総務費	9,887,148	11.3%	9,405,877	481,271	5.1%	公民館給与費の移管、各種選挙執行費の増
教育費	9,011,005	10.3%	9,550,517	▲539,512	▲5.6%	公民館給与費の移管、小学校施設維持管理費の減
公債費	7,355,751	8.4%	7,321,586	34,165	0.5%	
土木費	6,988,233	8.0%	8,141,225	▲1,152,992	▲14.2%	下水道特別会計繰出金、所沢村山線道路築造費の減
消防費	3,466,417	4.0%	3,511,870	▲45,453	▲1.3%	給与費の減
その他	1,629,479	1.9%	1,418,555	210,924	14.9%	議員費の増
合計	87,330,000		83,734,000	3,596,000	4.3%	

2 平成23年度の主な施策

平成23年度の主な施策をお知らせします。「子ども医療費助成事業」の対象を10月から中学校3年生まで拡大するほか、新規事業（下表の★印）として「ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がんワクチン予防接種助成事業」や「公共施設省エネ・グリーン化推進事業」などがあります。広報ところざわ5月号や市HPには、下表に記載されている以外にも主な施策が掲載されていますのでぜひご覧ください！！

目的	事業名	予算額	事業内容
地域コミュニティの醸成	地域の底力支援事業	209万円	地域力向上のため、自治会や町内会で行なう事業を支援する。
	市民活動支援センター開設事業	1,385万円	10月に市民活動支援センターを開設し、市民活動の拠点施設とする。
	地域安全活動推進事業	112万円	防犯講習会や広報活動により、市民の安全で安心な生活を確保する。
「みんなで育む」子ども支援	子ども医療費助成事業	7億4,414万円	10月から対象を中学校3年生まで拡大する。
	保育園待機児童対策事業	4億1,098万円	新たに建設する認可保育園への施設整備補助を行う。
	★ 各種ワクチン予防接種助成事業	5億8,839万円	ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がんワクチン予防接種に対し助成する。
	★ 小学校外国語活動推進事業	1,228万円	従来の外国人英語指導助手に加え、外国語活動支援員を設置する。
	学校施設耐震補強事業	5,150万円	児童・生徒の生活の場と緊急避難場所として、25年度の完了を目指す。
環境に配慮したまちづくり	★ 公共施設省エネ・グリーン化推進事業	6,353万円	太陽光発電やLED照明などの省エネ技術を活用した改修事業を行う。
	★ 温暖化対策基金積立事業	5,008万円	太陽光や省エネルギー設備の導入するための財源を積み立てる。
	所沢カルチャーパーク築造事業	2億7,249万円	スポーツ広場の整備を行い公園施設の充実を図る。
所沢フランドの活性化と	所沢航空発祥100周年記念事業	800万円	所沢飛行場開設100周年を迎え「航空発祥の地・所沢」をアピールする。
	★ 商店街空き店舗実態調査事業	831万円	商店街の空き店舗等実態調査を実施し、振興施策の基礎資料とする。
	★ 急須で狭山茶消費拡大事業	102万円	中学生を対象にお茶の入れ方教室を行い、狭山茶の普及・消費拡大を図る。
	西所沢駅西口開設検討事業	693万円	西所沢駅周辺住民意向調査を行い、開設検討協議会を設置する。



3 所沢市の予算を「家計」に例えてみると……………

所沢市の23年度の歳入歳出予算について、イメージしやすいように、単位を億円から万円に読み替え、**年収873万円の家計**に例えてみましょう。

収入	23年度	22年度	増減
給料	585万円	566万円	19万円
うち基本給 (市税)	(517万円)	(508万円)	9万円
うち、諸手当 (地方消費税交付金など)	(68万円)	(58万円)	10万円
パート収入 (使用料・手数料など)	24万円	26万円	▲2万円
家族からの仕送り (国・県からの補助金等)	188万円	162万円	26万円
ローン借入 (市債)	45万円	46万円	▲1万円
貯金の取り崩し (繰入金)	21万円	27万円	▲6万円
その他 (繰越金)	10万円	10万円	-
合計	873万円	837万円	36万円

支出	23年度	22年度	増減
食費 (人件費)	225万円	229万円	▲4万円
家族の医療費 (生活保護などの扶助費)	223万円	197万円	26万円
ローンの返済 (市債の償還)	73万円	73万円	-
光熱水費などの雑費 (物件費・補助費など)	212万円	199万円	13万円
車や設備の修理代 (維持補修費)	20万円	19.5万円	0.5万円
子どもたちへの仕送り (他の会計への繰出金)	68.8万円	70万円	▲1.2万円
家の増改築費 (公共事業など)	51万円	49万円	2万円
友人へ貸すお金 (中小企業への貸付金など)	0.1万円	0.4万円	▲0.3万円
貯金 (積立金など)	0.1万円	0.1万円	-
合計	873万円	837万円	36万円

家計簿診断

＜収入のポイント＞

- ① 家族で稼いだ収入である「給料」や「パート収入」が約7割を占めています。
- ② 「給料」や「家族からの仕送り」が22年度より増えています。
- ③ 「ローン借入」や「貯金の取り崩し」が22年度より減っているものの、収入の1割弱を占めています。

＜支出のポイント＞

- ① 「食費」、「家族の医療費」、「ローンの返済」の義務的経費が約6割を占めています。
- ② 「家族の医療費」が22年度から、1割以上の増額となっています。
- ③ 「ローンの返済」は計画的に行なっていますが、「貯金」するほどの余裕はありません。

所沢市の家計は
大丈夫かな？



これからの財政運営

上記のとおり、「家族の医療費」が年々増加しており、また、計画的に「ローンの返済」を行なっているものの、新たな「貯金」をするほどの余裕はないというのが現状です。

市民サービスの維持・向上を図るためには、限られた財源を効率的・効果的に活用する必要があります。今後も、自主財源の確保や経常経費の更なる見直しとともに、基金や市債の適正な活用を図りながら、持続可能な財政運営に努めてまいります。